

料金別納

ゆうメール

和らぎながら、和らげながら、和らいでいる。

や
は
ら
ぎ
通
信

YAWARAGI TSUSHIN

2020

3
March

Vol.13



冬から春への変化の季節。桃色のイベントが多くあって、

きものおでかけも、気持ちがワクワクする時期ですね。

貴方自身が咲き誇る、そんなイベント、たくさんご用意しております。

3月 March

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
						1
2	3	4	5	6	7	8
着付け教室	着付け教室	定休日	茶道教室			アーティフィシャルフラワーレッスン
9	10	11	12	13	14 春の振袖フェア	15
臨時休業	着付け教室	定休日	洗えるきもの英(はなぶさ)展			
16	17	18	19	20	21	22
着付け教室	着付け教室	定休日	茶道教室			
23	24	25	26	27	28	29
着付け教室	着付け教室	定休日			大決算市 日本の匠 木野植物・菱谷善兵衛の帯屋	

4月 April

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
3/30	3/31	1	2	3	4	5 きものdeおでかけ
			定休日			
6	7	8	9	10	11	12 勝山さと子展 わたしのお気に入りwith SACRA
13	14	15	16	17	18	19 生け花教室
20	21	22	23	24	25	26 ジュエリー尾利出フェア 染百趣 矢野
27	28	29	30			
着付け教室	着付け教室	定休日				

やはらぎお稽古サロン「和の塾」。春らしい、やさしいイベントで自分アップデート。

3/8
日曜日

アーティフィシャル フラワーレッスン



「アーティフィシャルフラワー」ご存知ですか？近くから見ても、手で触っても、生花に見劣りしない高品質な造花です。花びらのフリルやしわまでリアルに再現し、生花のような色彩で染められ、茎や葉まで本物に近い仕上がりで美しい。お部屋を飾るインテリアにぴったり。ずっと楽しめる、春の彩りをやはらぎで作ってみませんか。

時間：13:30～15:30 場所：きものぎゃらりい和店内和室

持ち物：エプロン 参加費：3,000円 ドリンク付き
講師：Atelier hanakobo アトリエ花工房 太田垣多香

4/18
土曜日

やはらぎ生け花教室



生活中に自然にお花をというボリュームの小原流生け花。やはらぎの装飾でもすっかりおなじみです。ハレの日を飾るとっておきの飾りから、日々の自分のためのお花まで。生け花は、楽しみながら、美しさを作り上げる喜びを感じられるスキル。お花を飾ると、空間が浄化され、よい運気を引き寄せてくれるとも言います。そして、無心にうつくしいものと向かい合う時間は、メンタルケアにも効果的なんですよ！

時間：13:30～17:00（レッスン時間は1時間です。開催時間内にお越しください）
持ち物：花鉢、お花のお持ち帰り用袋参加費：2,000円（材料費含む・花材により多少変わることがあります。ご了承ください。）講師：大桑豊和（小原流）

4/4
土曜日

4/5
日曜日

和小物さくら お買い物ツアー & 京ランチ



フォーマルからカジュアルまで着姿を最後に決めるのが和小物。だから、きものマスターは小物にこそこだわります！そのティストとカラーがとってもお洒落で大人気の「和小物さくら」。古典からモダンまで、絶対にお気に入りの逸品が見つかるおでかけに参りましょう。



普段は一般の方がお入り頂けないところを、今回やはらぎのお客様だけに特別公開してくださること！バッグや帯留め、帯締め、かんざしにショールや草履まで、目を楽しませて、ランチで舌鼓！な時間を過ごしましょう☆



4月4日（土）・5日（日）どちらかの1日をお選び下さい
参加費：12,000円（交通費JRチケット・タクシー代金・ランチ代金）
時間：午前8時30分 和歌山駅集合

各教室・和の塾の詳細、
また日時が変更となる場合もございますので、
事前にお問い合わせください。

お問い合わせ
きものぎゃらりい和 TEL.073-433-3567

3/13

金曜日

3/14

土曜日

洗えるきもの
英（はなぶさ）展



「きもの英」の女将武田佳保里さんと、神楽坂のお店にて

創業1967年。時代の先を見据え、多くの困難を乗り越えながら、「洗える着物」を一心に作り続けてきた「きもの英」。

ナイロン・テグスの行商から始まり、ナイロン製の和服・洋服の小売店を開店、高度成長期に「洗える着物」をメインに販売しオリジナル商品を展開した「きもの英」創業者武田豊子さん。「洗える着物なんて、安かろう悪かろうなのでは」という世論にも負けず、新作を生み出し続けました。その一代記は、花登筐作・新珠三千代主演の『新・細腕繁盛記』として全26話でテレビドラマ化もされたほど話題になりました。

令和になった今。きものが見直される時代背景に加え、進化した電化製品、多様化したお出かけのスタイルと、質の高い「洗える」着物が重宝される、まさに「英」の初代が見ていた未来が来ています。

洋服のように気軽に着られて、おうちで洗える。クリーニング代が抑えられるからコスパもいい、きものライフ。今の世の中にぴったりの「英」のきもの。生地にこだわり、染めにこだわり、仕立てにこだわった逸品が、やはりに集合します。

「英」のきものは、市販の洗剤で、全自動でも手洗いでもOK。ネットに入れて洗う、柔軟剤を使った方が静電気防止になる、干すのはハンガーにかけて陰干し。そのくらいの注意で大丈夫。

きものに一番良くないことは、「洗わない」こと。それはやはりでの「きもののお手入れ」イベントでも何度もお伝えしていますよ^ ^

洗わないきものは痛む一方で、色合い・風合いが変わってしまいます。その心配がなく、いつもシャキッときられる「英」のきもの。ぜひこの機会にお手にとってご覧ください☆



最終日 14日は 17:00 Close

3/28

土曜日

3/30

月曜日

大決算市

同時開催 特別企画 日本の匠 木野織物・菱谷善兵衛の帯展

お得に、あなただけの逸品を手に入れるチャンス！最終30日は17時まで。

4/11

土曜日

4/12

日曜日

勝山さと子展
～わたしのお気に入り～
with SACRA

【勝山さと子さんのことば】

京都、西陣の機屋の娘として生まれ育ち幼いころから織物に触れてまいりました。兄、勝山健史と弊社長野工房の志村明氏、ふたりの絹に対するこだわり、最高に良質なものを創ろうとする熱意。

そのようなものづくりに対する姿勢を間近で見られる環境になりました。そのなかで特別なものではなく、日常の中にある上質で、着ていただきやすい着物や帯をご提案したいという想いが、強くなりこの度新たにブランドを立ち上げました。現代の生活に溶け込み、それでいて華やかで存在感のあるきものをご提供させて頂きます。



さと子さんのものづくりを見学してきました！



京都にある周山工房。北山杉が美しい、周囲を山々にかこまれた長閑なところ。周囲を山に囲まれた盆地にあって適度な湿度が西陣織に適した場所。左の写真は、高機織機。熟練の職人さん達が手間暇かけて織っています。

勝山さと子さんのきものはほとんどが無地。着る人の色がそのまま表現されます。「自分」という個性が、無地のきもののエッセンスになります。

「無地に始まり、無地に終わる」といわれるきものだからこそ、糸の力を知っている勝山織物のサラブレッド「勝山さと子」ブランドのきものを纏い、帯を締めて欲しいです☆



最終日 12日は 17:00 Close

4/25

土曜日

4/26

日曜日

ジュエリー尾利出フェア
& 染百趣 矢野

毎年大人気の、尾利出ジュエリーに、今回は四季折々の美しさを染めで表現した、染百趣 矢野の饗宴。目移り必至！のイベントです！

やはりのきものファンに人気の企画。お見逃しなく！最終日は17時まで。

受講者
募集中!

きものコンシェルジュ コラム

帯締めのお話し

帯締めは、帯の形を崩さないように抑える紐。その役割と同時に、装飾もかねています。和服の小物の歴史の中では、最も新しいものです。江戸時代後期、人気のあった歌舞伎役者が衣装の着崩れを防ぐために帯の上に締めた紐がルーツです。また深川の芸者衆が太鼓結びをした時に、帯がぶらぶらしないようとめるために使いました。最初は布を筒状にして綿を入れた「丸ぐみ」でしたが、遊び上手な人たちが武士の刀の下げ紐を使用したことから人気になり、組紐職人が「帯締め」として作り始め、明治時代にお太鼓結びが帯結びの定番となると同時に、小物として市民権を得ました。「金銀」「ポイントのある」帯締めは、左の方が位が上という考え方から、「金」「ポイント」を自分の左側に配置し、華やかになるように締めます。



和小物さくら 帯締め 小桜組（左）高麗巖島経巻組（右）

やはらぎおすすめ・お役立ち情報

勝山さと子展みどころ

「絹雲織(きぬくもおり)」 一扁平糸一

絹糸には扁平糸という捻をかけていない平らな糸を緯糸には貝灰で精錬した糸を使用しております。

平みのある絹糸は織りあげると奥から光沢を放ったような上品な艶が生まれます。着ていただく程に糸がなじみ生地の風合いも増してまいります。

(勝山さと子)

ドレスアップきもの

「絹雲織」の美しさ

きものの美を支えるのは糸、
糸にこだわり、
織りあがったのが「絹雲織」

動くたびにできる
布の流れの美しさと
気品のある光沢。

大人のドレスアップきものです。



さいきんのやはらぎ

やはらぎでは、初市から始まった2020年。今年はきものへの世界的な関心がアップしているのを感じました。またこの時期は成人式。やはらぎとしてもとてもやりがいのあるお仕事です。美しく羽ばたく新成人の皆様のお手伝いができるることは、毎年この上ない喜びなんです。イベントでは、「睦月のよそひ 二社合同展」工芸染匠 成謙の幅広い表現と豊かな色彩の伝

やはらぎインタビュー 和小物さくら 中川靖子部長



－ どういうお仕事をされているんですか？
そうですね、今はものづくりが半分。あと半分はつくったものをお客様に説明させていただいて、販売しています。商品が小物なので、種類が多いんですね。バッグ、帯締め、帯揚げ…特に小物はきものや帯よりも季節感が必要になるので、「この季節にお使いになられる」という小物をおすすめしています。制作では、3、4ヶ月先に使っていただけるものを作っていますね。



－ どの季節にどんなものを使っていただいく、ということをイメージされているんですね。
はい。なにより色を一番大切にしています。そこがこだわりですね。色の感じ、印象や見え方が、3、4ヶ月先にはどうなっているかな、といつも考えています。

－ きもののコーデで迷った時に、さくらさんの小物を使うと、何にでも合うんですよね。そう言っていただけるんですが、基本的に自分が使いたいものを作っています（笑）

10年前はもっと違ったんですが、今は、この年代でこういう風に使えるというような、TPOというようなものに配慮しています。自分が身につけるとしたら、こう変身できる。お客様ならこう見せていただける。自分だけの枠にとらわれないで、理想のものづくり、使っていただきたいという思いが大きく広がっています。単に色や形がかわいい、だけではないと感じています。また、小物一つで何通りにも使えるようにということも考えていますね。それがお客様にもご理解いただけた時がとても嬉しいです。

－ 多くの作品が「さくら」さんにはありますよね。

全部色張りして作っています。メーカーから「既にあるもの」を仕入れるということはありません。全部一から作っています。様々な小物を、同時に、次のシーズンに向けて作っていきます。多くの年代を想定して、上質のものをご提供できるよう心がけています。海外でも評価していただいている、今年はカンヌ映画祭のレッドカーペットを弊社の専務が歩くらしいです（笑）またそういったことが私たちの刺激になりますし、SNSなどからの反響もあります。



自分の好きな色で作れるシュリンクバッグ

－ 今年の春の一押し商品は？
ええ～いっぱいあるけど（笑）
やっぱりこの高麗巖島経巻？あと小桜（共に帯締め）ですよね。
今まで一番自分の自信になった作品はシュリンクのバッグです。試行錯誤した甲斐あって、嬉しいことに、お客様に愛していただいています。